

## 1. 需給見通し

農林水産省は、「砂糖及びでん粉の価格調整に関する法律」（昭和40年法律第109号）により、四半期ごとに砂糖および異性化糖の需給見通しを公表している。12月に「令和元砂糖年度における砂糖及び異性化糖の需給見通し（第2回）」を公表した（詳細は2020年2月号参照）。

### 令和元砂糖年度（10月～翌9月）の見通し

#### 【砂糖】

総消費量：188万8000トン（前回見通しから8000トン減）

総供給量：184万8000トン（同7000トン増）

#### 【加糖調製品】

消費量および供給量：51万7000トン（同9000トン減）

#### 【異性化糖】

消費量および供給量：83万2000トン（同2000トン減）

表1 令和元砂糖年度における砂糖の需給見通し

（単位：千トン）

		平成30砂糖年度 (実績)	令和元砂糖年度				合 計	
			10月-12月 (実績見込み)	1月-3月 (見通し)	4月-6月 (見通し)	7月-9月 (見通し)		
消費量	分みつ糖	1,835	488.6	427.0	465.9	468.5	1,850	
	含みつ糖	36	7.0	13.5	10.5	7.4	38	
	合 計	1,872	495.6	440.5	476.4	475.9	1,888	
供給量	国内産糖	分みつ糖	734	369.3	369.7	51.9	-	791
		含みつ糖	11	0.9	9.3	2.4	-	13
		小計	745	370.2	379.0	54.3	-	804
	輸入糖	分みつ糖	1,146	299.6	155.5	273.0	307.2	1,035
		含みつ糖	9	1.7	4.0	2.9	0.9	10
		小計	1,155	301.3	159.5	275.9	308.1	1,045
	合計	分みつ糖	1,880	668.9	525.2	324.9	307.2	1,826
		含みつ糖	20	2.6	13.3	5.3	0.9	22
		小計	1,900	671.5	538.5	330.2	308.1	1,848
	期末在庫		332	479.1	577.1	430.9	263.1	263

資料：農林水産省「令和元砂糖年度における砂糖及び異性化糖の需給見通し（第2回）」

注1：分みつ糖は精糖ベースの数量、含みつ糖は製品ベースの数量である。

注2：輸入糖の分みつ糖供給量は、機構売買数量である。

表2 令和元砂糖年度における加糖調製品の需給見通し

（単位：千トン）

	平成30砂糖年度 (実績)	令和元砂糖年度				合 計
		10月-12月 (実績見込み)	1月-3月 (見通し)	4月-6月 (見通し)	7月-9月 (見通し)	
消費量	519	153.1	112.6	123.3	127.9	517
供給量	519	153.1	112.6	123.3	127.9	517

資料：農林水産省「令和元砂糖年度における砂糖及び異性化糖の需給見通し（第2回）」

注1：改正糖価調整法（2018年施行）に基づき調整金の対象とされた加糖調製品を対象としている。

注2：消費量は対象となる加糖調製品の輸入量（財務省貿易統計より算出）を踏まえて見通しており、供給量は消費量に見合った量が供給されるものとして見通している。

注3：令和元砂糖年度の消費量は、平成30砂糖年度の輸入実績を踏まえて見通している。

表3 令和元砂糖年度における異性化糖の需給見通し

(単位：千トン)

	平成30砂糖年度 (実績)	令和元砂糖年度				合計
		10月-12月 (実績見込み)	1月-3月 (見通し)	4月-6月 (見通し)	7月-9月 (見通し)	
消費量	824	183.2	190.4	245.3	212.9	832
供給量	824	183.2	190.4	245.3	212.9	832

資料：農林水産省「令和元砂糖年度における砂糖及び異性化糖の需給見通し（第2回）」  
注：標準異性化糖（果糖55%ものの固形ベース）に換算した数量である。

## 2. 輸入動向

### 【粗糖の輸入動向】

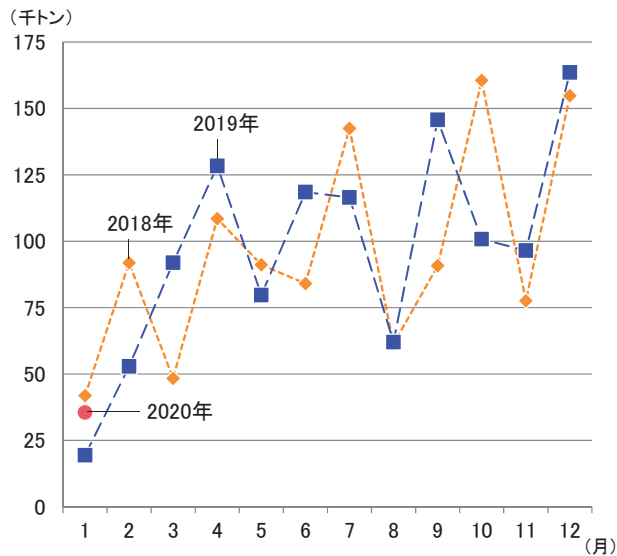
#### 1月の輸入量は前年同月から大幅に増加

財務省「貿易統計」によると、2020年1月の甘しや糖・分みつ糖（HSコード 1701.14-110）および甘しや糖・その他（同1701.14-200の豪州）の輸入量は、3万5481トン（前年同月比82.6%増、前月比78.3%減）であった（図1）。

輸入先国は豪州およびタイで、国別の輸入量は次の通りであった（図2）。

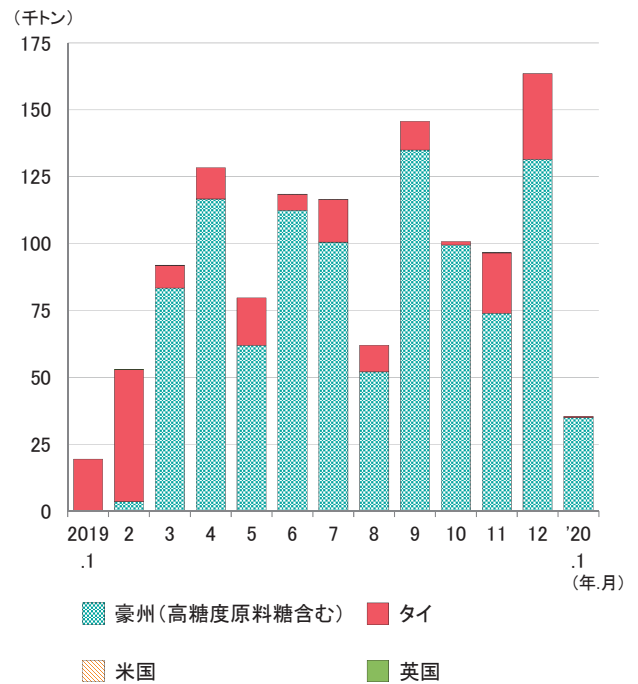
- 豪州 3万4981トン  
(前年同月輸入実績なし、前月比73.4%減)
- タイ 500トン  
(前年同月比97.4%減、同98.4%減)

図1 粗糖の輸入量の推移



資料：財務省「貿易統計」  
注：HSコード1701.14-110、1701.14-200（豪州のみ）

図2 粗糖の国別輸入量の推移



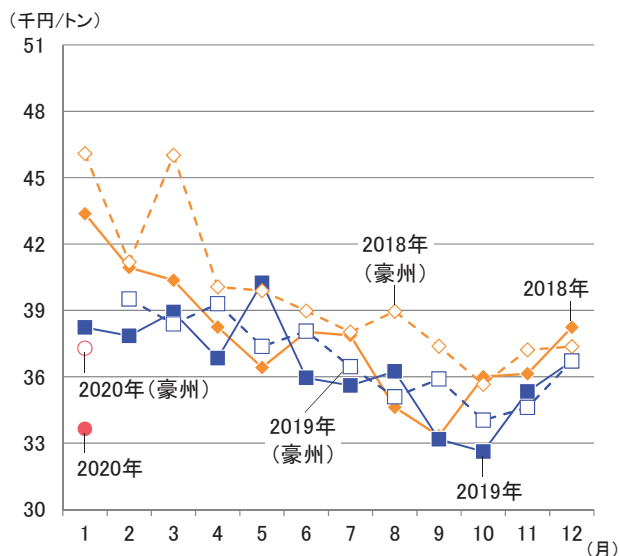
資料：財務省「貿易統計」  
注：HSコード1701.14-110、1701.14-200（豪州のみ）

2020年1月の甘しや糖・分みつ糖の1トン当たりの輸入価格は、3万3650円（前年同月比12.0%安、前月比8.3%安）であった（図3）。

- タイ 3万3650円  
(前年同月比12.0%安、前月比8.3%安)

また、同月における甘しや糖・その他の豪州からの高糖度原料糖の1トン当たりの輸入価格は、3万7285円（前年同月輸入実績なし、前月比1.5%高）であった。

図3 粗糖の輸入価格の推移



資料：財務省「貿易統計」  
 注1：実線はHSコード1701.14-110、点線はHSコード1701.14-200（豪州のみ）。  
 注2：2019年1月は1701.14-200の豪州からの輸入実績なし。

### 【含みつ糖の輸入動向】

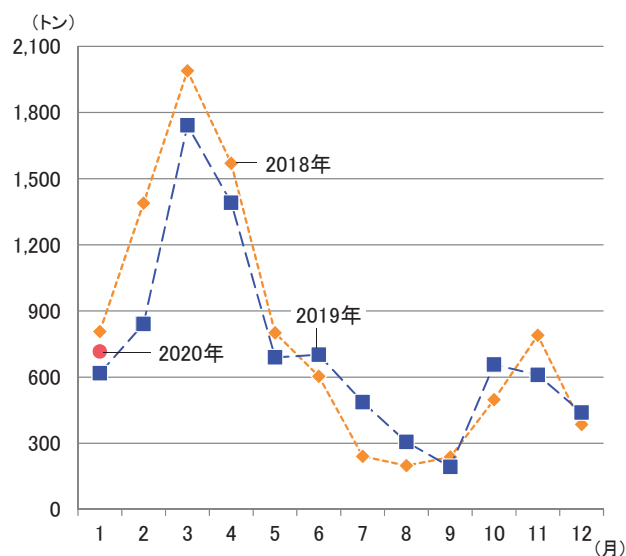
#### 1月の輸入量は前年同月からかなり大きく増加

財務省「貿易統計」によると、2020年1月の含みつ糖（HSコード 1701.13-000、1701.14-190）の輸入量は、716トン（前年同月比15.9%増、前月比62.7%増）であった（図4）。

輸入先国はタイ、中国、フィリピンおよび台湾の4カ国で、国別の輸入量は次の通りであった（図5）。

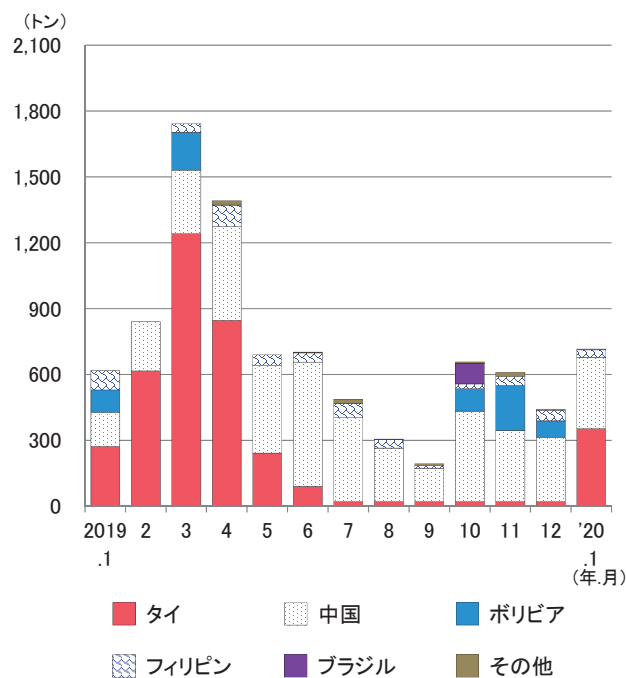
- タイ 354トン  
（前年同月比29.7%増、前月比16.9倍）
- 中国 324トン  
（同2.1倍、同11.0%増）
- フィリピン 34トン  
（同61.4%減、同30.6%減）
- 台湾 4トン  
（前年同月輸入実績なし、同2.0倍）

図4 含みつ糖の輸入量の推移



資料：財務省「貿易統計」  
 注：HSコード1701.13-000、1701.14-190

図5 含みつ糖の国別輸入量の推移



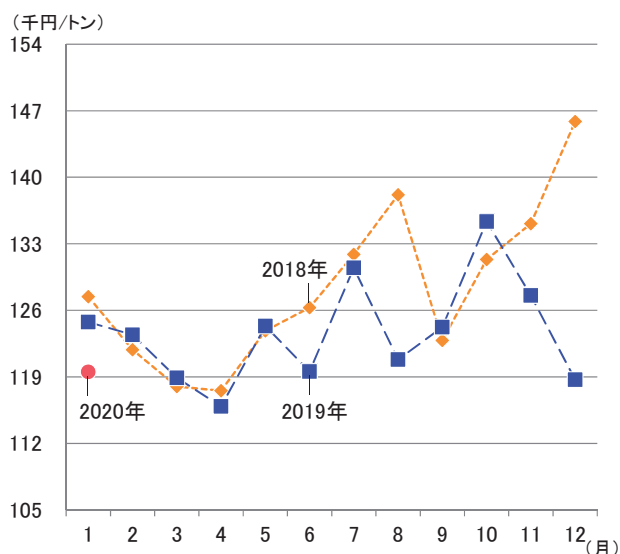
資料：財務省「貿易統計」  
 注：HSコード1701.13-000、1701.14-190

2020年1月の1トン当たりの輸入価格は、11万9529円（前年同月比4.2%安、前月比0.7%高）であった（図6）。

国別の1トン当たりの輸入価格は、次の通りであった。

タイ	11万3169円
	（前年同月比2.1%安、前月比22.8%高）
中国	12万954円
	（同5.4%安、同5.5%高）
フィリピン	14万1941円
	（同0.6%安、同12.3%高）
台湾	37万6500円
	（前年同月輸入実績なし、同45.9%高）

図6 含みつ糖の輸入価格の推移



資料：財務省「貿易統計」  
注：HSコード1701.13-000、1701.14-190

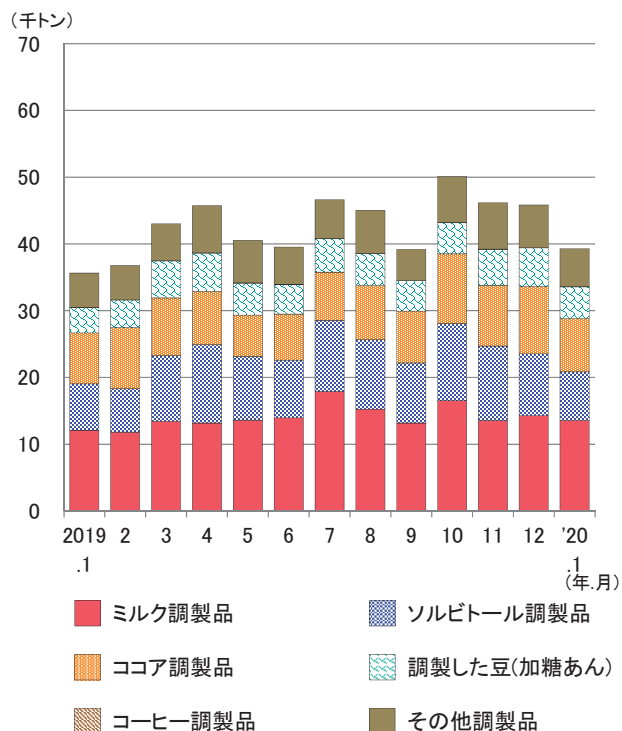
### 【加糖調製品の輸入動向】

#### 1月の加糖調製品の輸入量は前年同月からかなりの程度増加

財務省「貿易統計」によると、2020年1月の加糖調製品の輸入量は、3万9284トン（前年同月比10.2%増、前月比14.3%減）であった（図7）。

品目別の輸入量は、表4の通りであった。

図7 加糖調製品の品目別輸入数量の推移



資料：財務省「貿易統計」  
注：各品目のHSコードは、次の通り。  
ココア調製品：1806.10-110、1806.10-190、1806.20-112、1806.20-113、1806.20-121、1806.20-129、1806.32-212、1806.32-213、1806.90-212、1806.90-213  
コーヒー調製品：2101.11-110、2101.11-190、2101.12-111、2101.12-112、2101.12-246  
調製した豆（加糖あん）：2005.40-191、2005.40-199、2005.51-191、2005.51-199  
ミルク調製品：1901.90-219、2106.90-283、2106.90-284  
ソルビトール調製品：2106.90-510  
その他調製品：2008.99-218、2106.90-590、2101.20-246、2106.90-252、2106.90-253、2106.90-281、2106.90-282、2106.10-219

表4 加糖調製品品目別輸入量（1月）

区分	輸入量（トン）	前年同月比（%）	前月比（%）
ミルク調製品	13,584	12.2	▲ 5.0
ソルビトール調製品	7,261	4.5	▲ 21.6
ココア調製品	7,984	4.9	▲ 20.4
調製した豆（加糖あん）	4,747	25.9	▲ 18.4
コーヒー調製品	29	▲ 42.2	▲ 20.8
その他調製品	5,679	10.3	▲ 11.3
合計	39,284	10.2	▲ 14.3

資料：財務省「貿易統計」

### 3. 異性化糖の移出動向

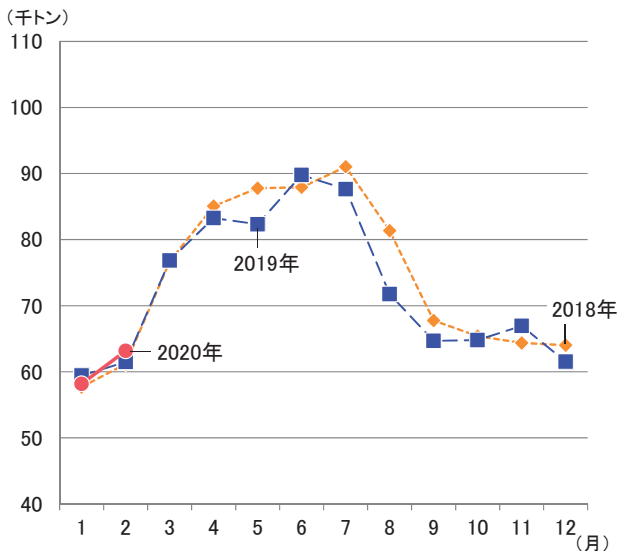
#### 2月の移出量は前年同月からわずかに増加

2020年2月の異性化糖の移出量は、6万3169トン（前年同月比2.7%増、前月比8.6%増）であった（図8）。

同月の規格別の移出量は、次の通りであった（図9）。

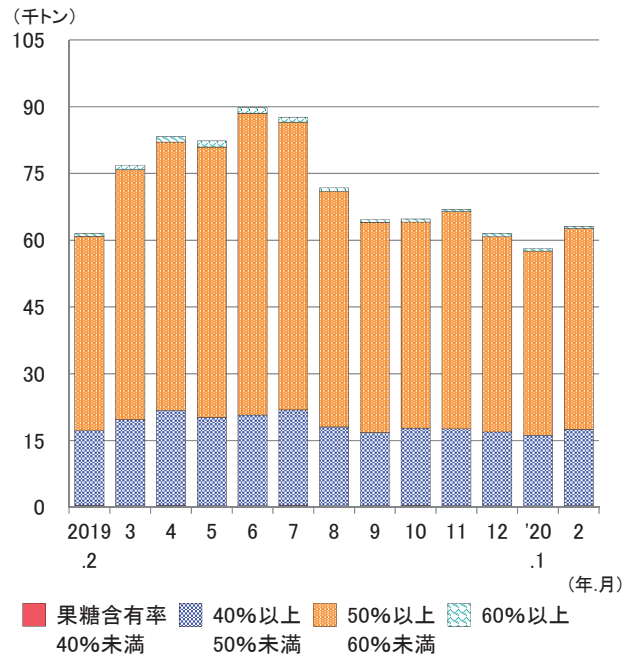
- 果糖含有率40%未満 363トン  
（前年同月比13.4%減、前月比17.7%増）
- 同40%以上50%未満 1万7176トン  
（同2.0%増、同8.0%増）
- 同50%以上60%未満 4万5059トン  
（同3.3%増、同8.9%増）
- 同60%以上 572トン  
（同6.6%減、同1.5%減）

図8 異性化糖の移出量の推移



資料：農畜産業振興機構調べ

図9 異性化糖の種類別移出量の推移



資料：農畜産業振興機構調べ

### 4. 価格動向

#### 【市場価格】

#### 砂糖、異性化糖ともに前月と同水準で推移

2月の糖種別・地域別の砂糖価格（日経相場）は、次の通りであった。

上白糖（大袋）

東京 1キログラム当たり187~188円

大阪 同187~188円

名古屋 同191円

関門 同191円

上白糖（小袋）

東京 1キログラム当たり199~202円

大阪 同202円

本グラニュー糖（大袋）

東京 1キログラム当たり192~193円

大阪 同192~193円

名古屋 同196円

ビート・グラニュー糖（大袋）

東京 1キログラム当たり187～188円

大阪 同187～188円

名古屋 同189円

2月の異性化糖の価格（日経相場、大口需要家向け価格、東京、タンクローリーもの、JAS規格品、水分25%）は、次の通りであった。

果糖分42%もの

1キログラム当たり131～132円

果糖分55%もの

同137～138円

### 【小売価格】

## 2月の上白糖小袋の地域間の価格差は最大で21.9円

KSP-POSデータ（全国535店舗）によると、スーパーにおける2月の上白糖小袋（1キログラム）の平均小売価格は、193.6円（前年同月差1.6円高、前月差1.9円高）であった。最も高かったのは中国・四国で、最も安かった関東などとの価格差は21.9円であった。

同月の地域別<sup>(注)</sup>の平均小売価格は、次の通りであった（表5）。

(注) 地域の内訳は次の通りである（以下、同じ）。

関東など：茨城県、栃木県、群馬県、長野県、山梨県、静岡県

首都圏：東京都、千葉県、埼玉県、神奈川県

中部：新潟県、富山県、石川県、福井県、岐阜県、三重県、愛知県

関西：大阪府、兵庫県、京都府、滋賀県、和歌山県、奈良県

表5 上白糖の地域別平均小売価格（2月）

(単位：円/kg)

地域	平均価格	前年同月価格差	前月価格差
北海道	199.0	▲ 1.7	▲ 0.8
東北	198.7	▲ 3.8	2.6
関東など	181.7	▲ 2.3	▲ 0.5
首都圏	194.0	5.3	6.2
中部	182.4	3.2	▲ 0.4
関西	195.2	2.7	0.2
中国・四国	203.6	▲ 0.4	2.4
九州・沖縄	197.2	1.6	1.9
全平均	193.6	1.6	1.9

資料：農畜産業振興機構調べ（原典：KSP-POSデータ〈全国535店舗〉）

## 2月のグラニュー糖小袋の地域間の価格差は最大で72.5円

KSP-POSデータ（全国535店舗）によると、スーパーにおける2月のグラニュー糖小袋（1キログラム）の平均小売価格は、243.1円（前年同月差0.3円高、前月差0.6円安）であった。最も高かったのは東北で、最も安かった北海道との価格差は72.5円であった。

同月の地域別の平均小売価格は、次の通りであった（表6）。

表6 グラニュー糖の地域別平均小売価格（2月）

(単位：円/kg)

地域	平均価格	前年同月価格差	前月価格差
北海道	203.6	0.0	0.1
東北	276.1	▲ 1.2	▲ 0.4
関東など	244.7	▲ 3.8	▲ 2.6
首都圏	254.3	3.2	0.0
中部	251.6	1.0	0.2
関西	230.0	0.5	0.1
中国・四国	253.3	1.7	▲ 1.0
九州・沖縄	216.6	▲ 0.0	▲ 0.9
全平均	243.1	0.3	▲ 0.6

資料：農畜産業振興機構調べ（原典：KSP-POSデータ〈全国535店舗〉）

## 2月の三温糖小袋の地域間の価格差は最大で38.1円

KSP-POSデータ（全国535店舗）によると、スーパーにおける2月の三温糖小袋（1キログラム）の平均小売価格は、233.0円（前年同月差3.9円安、前月差0.2円高）であった。最も高かったのは東北で、最も安かった九州・沖縄との価格差は38.1円であった。

同月の地域別の平均小売価格は、次の通りであった（表7）。

表7 三温糖の地域別平均小売価格（2月）

（単位：円/kg）

地域	平均価格	前年同月価格差	前月価格差
北海道	238.3	▲ 6.0	3.5
東北	248.3	▲ 13.7	▲ 2.2
関東など	238.2	▲ 6.2	2.7
首都圏	226.3	▲ 5.6	0.3
中部	229.3	▲ 0.4	0.1
関西	231.7	0.7	0.5
中国・四国	246.9	▲ 2.9	▲ 2.5
九州・沖縄	210.2	2.2	0.8
全平均	233.0	▲ 3.9	0.2

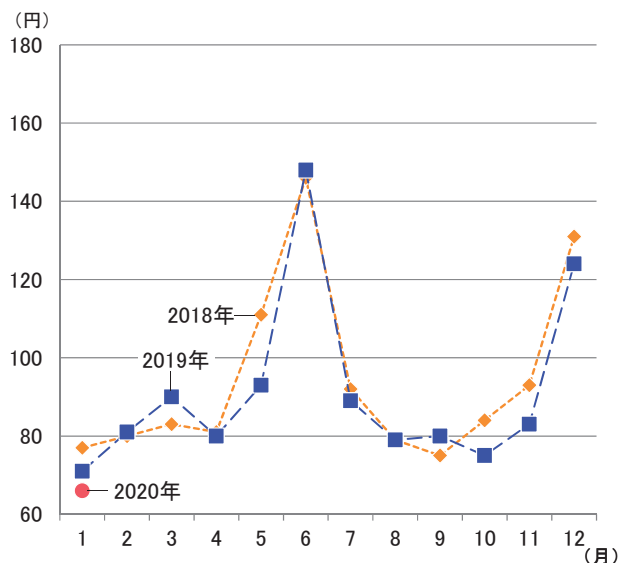
資料：農畜産業振興機構調べ（原典：KSP-POSデータ（全国535店舗））

### 【購入金額および購入量】

#### 1月の砂糖の支出金額は前年同月と比べかなりの程度下落

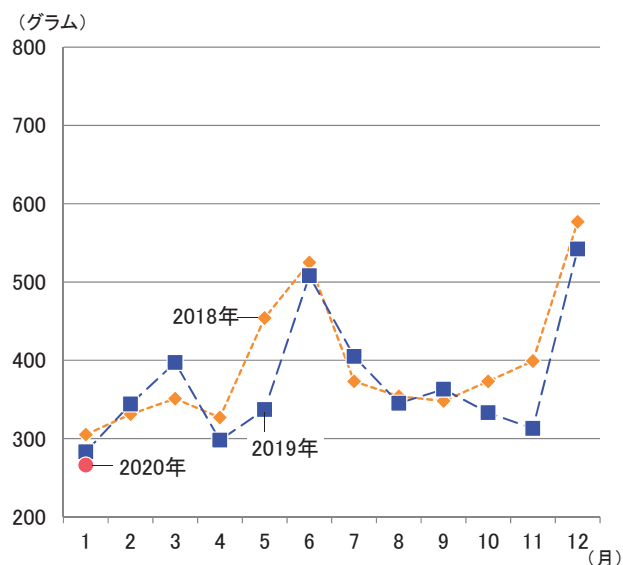
総務省「家計調査」によると、2020年1月における100世帯当たりの砂糖の購入頻度は27、1世帯（2人以上）当たりの支出金額は66円（前年同月比7.0%安、前月比46.8%安）であった（図10）。また、同月の1世帯当たりの砂糖の購入数量は、266グラム（同6.0%減、同50.9%減）であった（図11）。

図10 1世帯当たりの砂糖に係る支出額の推移



資料：総務省「家計調査」

図11 1世帯当たりの砂糖の購入数量の推移



資料：総務省「家計調査」